

令和3年度行政事業レビューシート ( 法務省 )

<b>事業名</b>	第14回国際連合犯罪防止刑事司法会議の2020年日本開催			<b>担当部局庁</b>	大臣官房国際課	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	平成28年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	令和2年度	<b>担当課室</b>	-	国際課長 柴田 紀子			
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	1950年12月1日付け国連総会決議145(V) 1991年12月18日付け国連総会決議46/152			<b>関係する計画、通知等</b>	社会・経済問題に対処し、国家的・国際的な法の支配及び市民参加を推進するために犯罪防止・刑事司法をより広い国際連合のアジェンダへ統合することに関するドーハ宣言(第13回国際連合犯罪防止刑事司法会議)、「持続可能な開発のための2030アジェンダの達成に向けた犯罪防止、刑事司法及び法の支配の推進に関する京都宣言」(第14回国連犯罪防止刑事司法会議(「京都 kongress」))				
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際連合犯罪防止刑事司法会議( kongress )は、5年に1度開催される犯罪防止・刑事司法分野における国連最大の国際会議である。約50年ぶりに我が国が同会議のホスト国となり政治宣言案を取りまとめ、同会議を成功裡に終えることで、我が国の当該分野における国際的プレゼンスを高めることを目的とする。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	第14回国際連合犯罪防止刑事司法会議(「京都 kongress」)のホスト国として、国連、外務省等の関係省庁及び開催自治体である京都府・市等と協力し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底する等、準備を進めた。京都 kongress では、来場参加とオンライン参加を組み合わせたハイブリッド方式により世界各地から過去最大規模の参加者を得て、成果文書として、「京都宣言」が採択された。								
<b>実施方法</b>	直接実施、委託・請負								
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	68	208	1,882	0	0		
		補正予算	-	-	639	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	68	208	2,521	0	0		
	執行額		65	148	2,231	-	-		
	執行率 (%)		96%	71%	88%	-	-		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		96%	71%	88%	-	-		
<b>令和3・4年度 予算内訳</b> (単位:百万円)	<b>歳出予算目</b>		令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由				
	-		-	-	-				
	計		0	0	-				
<b>成果目標及び 成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 2 年度
	kongress の参加者人数を4,000人以上とする。	参加人数	成果実績	人数	-	-	5,600	-	5,600
			目標値	人数	-	-	4,000	-	4,000
			達成度	%	-	-	140	-	140
<b>根拠として用いた 統計・データ名</b> (出典)	第13回国際連合犯罪防止刑事司法会議(カタール・ドーハ kongress )参加人数 第14回国際連合犯罪防止刑事司法会議(日本・京都 kongress )参加人数								

	定量的な成果目標	成果指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標	目標最終年度	
				-年度	-年度	-年度	-年度	2年度	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	世界中から kongress に参加した者に、我が国のこの50年のたゆまぬ努力の結実としての国家の成熟や、法の支配の浸透、さらには「世界一安全な日本」を体感してもらおう。さらに、国内の安全・安心な社会の実現や再犯防止、これを支える法遵守の文化についての国民的関心を高める機会とする。関心度を表すものとして、京都 kongress に関するホームページアクセス件数を12万件以上とする。	京都 kongress に関する法務省ホームページのアクセス件数	成果実績	件	73,900	407,303	475,291	-	475,291
			目標値	件	80,000	120,000	120,000	-	120,000
			達成度	%	92	340	396	-	396
根拠として用いた統計・データ名(出典)	当省にて把握している法務省ホームページのアクセス件数								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	4年度活動見込	
	各国政府要人等に対する kongress 参加の呼びかけ(招待状発出含む)回数	活動実績	回数	35	409	351	-	-	
		当初見込み	回数	50	50	400	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込		
	執行額/実施回数	単位当たりコスト	百万円	1.9	0.4	6.4	-		
		計算式	百万円/回数	65/35	148/409	2231/351	-		
政策評価、 新経済・ 財政再生 計画との 関係	政策	法務行政における国際化対応・国際協力(VI-14)							
	施策	法務行政の国際化への対応(VI-14-(1))							
	測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標	目標年度
		-	実績値	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
	測定指標	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)				
		-	-	-	-				
		-	-	-	施策の進捗状況(実績)				
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	-								
新経済・ 財政再生 計画改革 工程表 2020	取組事項	分野:	-	-					
	(第一階層) KPI	KPI(第一階層)		単位	計画開始時	2年度	3年度	中間目標	目標最終年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
	(第二階層) KPI	KPI(第二階層)		単位	計画開始時	2年度	3年度	中間目標	目標最終年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	犯罪防止・刑事司法に対する国民の関心を高め、再犯防止や安心・安全な社会の実現に寄与するものであるとともに、我が国の国家の成熟や法の支配の浸透を国内にもアピールできる絶好の機会である。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	kongressは国連主催の会議であり、我が国が国連加盟国としてこれを開催するものであることから、一部の事務において民間委託は可能であるものの、事業主体は国である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	犯罪防止・刑事司法に対する国民の関心を高め、再犯防止や安心・安全な社会の実現に寄与するものであるとともに、我が国の国家の成熟や法の支配の浸透を国内にもアピールできる絶好の機会である。刑事司法分野における国連最大規模の国際会議を成功させることは、「世界一安全な国、日本」を対外的にアピールできる絶好の機会であるとともに、犯罪防止・刑事司法分野における我が国の国際的なプレゼンスを高めるものであり、我が国の国際的政策目標達成に資するものであることから優先度は高い。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	競争性のない随意契約として、公益財団法人矯正協会のみが販売している刑務作業製品の購入や、コロナ禍において京都kongressを安心・安全に実施するため、確実にPCR検査体制を確保するために業者を確保したものなどがある。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有						
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有						
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	予算の執行に当たっては、支出の妥当性、相当性、競争性を確保するとともに、コスト削減に努め、事業目的に必要なものに限定している。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-					
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	予算の執行に当たっては、支出の妥当性、相当性、競争性を確保するとともに、コスト削減に努め、事業目的に必要なものに限定している。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、計画されていた外国旅費及び外国人招へい旅費が執行されなかったため。また、外国旅行及び外国人招へい業務に係る委託契約の内容に減額変更が生じたため。					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	予算の執行に当たっては、支出の妥当性、相当性を十分に検討し、コスト削減を図っている。						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	kongressに関するホームページのアクセス数は47万件を超え、さらに、過去最多となる152の加盟国から約5,600名が参加登録されるなど、成果実績は成果目標を大幅に上回ったものとなった。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込みに見合ったものとなった。そして、各国政府要人等に対するkongress参加の呼びかけを行った結果、過去最多となる152の加盟国から、約5,600名が参加登録を行うなど、成果実績につながった。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-					
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所管府省名</th> <th>事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	所管府省名	事業番号	事業名		-		
所管府省名	事業番号	事業名						
	-							
点検・改善結果	点検結果	我が国におけるkongressの開催は今回が2回目であり、過去最多である152の加盟国から、約5,600名が参加登録した。そして、全体テーマ「2030アジェンダの達成に向けた犯罪防止、刑事司法及び法の支配の推進」の下、kongressの成果として、犯罪防止・刑事司法分野における国連及び加盟国の中長期的な指針となる「京都宣言」が採択されたことなど、事業効果が得られたといえる。						
	改善の方向性	我が国は、kongressのホスト国として、国連及び各国が「京都宣言」の内容を実行に移す上で主導的役割を果たすことが期待されているところ、kongressの成果展開を計画的・効率的に行っていく。						

外部有識者の所見

国際的に意義の大きい活動であり、コロナ禍のなかで無事開催を終えたこと、参加者数についても当初の想定を上回る成果を収めたことは高く評価することができる。特に新型コロナウイルス問題については緊急の対応であったことから一者応札・随意契約が生じたことはやむを得ないが、支出の適正さについて事後的な再点検が行なわれることを期待する。

行政事業レビュー推進チームの所見

終了予定

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予定終了通り

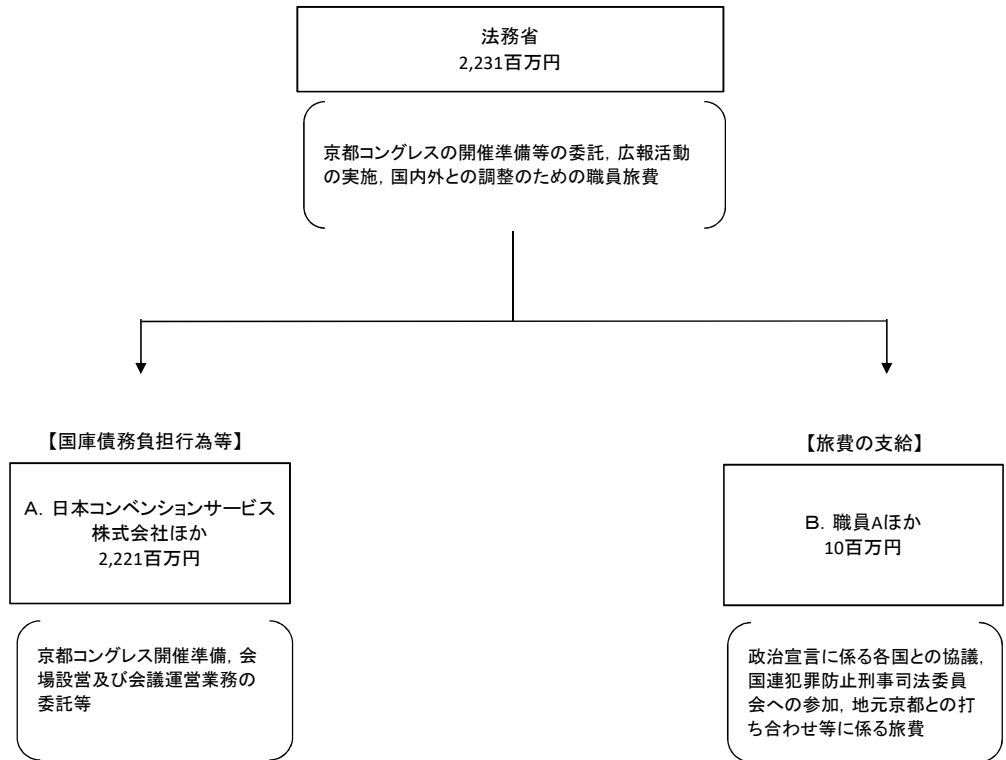
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	-	-	-
平成23年度	-	-	-	-
平成24年度	-	-	-	-
平成25年度	-	-	-	-
平成26年度	-	-	-	-
平成27年度	-	-	-	-
平成28年度	新28-0001	-	-	-
平成29年度	0063	-	-	-
平成30年度	0063	-	-	-
令和元年度	法務省 - 0066	-	-	-
令和2年度	法務省 - 0068	-	-	-

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



費目・使途  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が)

A. 日本コンベンションサービス株式会社			B. 職員A		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	京都Congress開催準備、会場設営及び会議運営業務の委託	1,492	旅費	職員旅費	0.2
計		1,492	計		0.2

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本コンベンション サービス株式会社	2010001033161	京都コンgres開催準備、 会場設営及び会議運営業 務	1,492	国庫債務負担 行為等	-	-	
2	公益財団法人国立 京都国際会館	1130005012365	京都コンgresスクロージ ング食事を開催準備運営業 務	4	随意契約 (その他)	-	-	
3	公益財団法人国立 京都国際会館	1130005012365	京都コンgresスクロージ ング食事を開催準備運営業 務(単価契約分)	1	随意契約 (その他)	-	-	
4	公益財団法人国立 京都国際会館	1130005012365	加盟国代表団との意見交 換会	0	随意契約 (その他)	-	-	
5	公益財団法人国立 京都国際会館	1130005012365	京都コンgres及び同ユ ースフォーラム会場借料	510	随意契約 (公募)	-	-	
6	公益財団法人国立 京都国際会館	1130005012365	京都コンgres・ユ ースフォーラム事前勉強会会場 借料	2	随意契約 (その他)	-	-	
7	総合警備保障株式 会社	3010401016070	第14回国連犯罪防止刑事 司法会議会場等警備業務	189	国庫債務負担 行為等	-	-	
8	株式会社GME	1070001010478	京都コンgres運営に従事 する職員等を対象としたP CR検査委託費	9.6	随意契約 (その他)	-	-	
9	株式会社京都ホテル	6130001023386	京都コンgresハイレ ベル行事ケータリングサー ビス業務	3	一般競争契約 (総合評価)	1	92.2%	-
10	イズミ産業株式会社	9010001000634	京都コンgres感染防止対 策物品(アルコール消毒 液)	0.7	随意契約 (少額)	-	-	
11	イズミ産業株式会社	9010001000634	京都コンgres感染防止対 策物品(フェイスシールド)	0.6	随意契約 (少額)	-	-	
12	株式会社日精ピー アール	2010001082712	京都コンgres感染防止対 策物品(電子体温計)	0.9	随意契約 (少額)	-	-	
13	株式会社日精ピー アール	2010001082712	京都コンgres感染防止対 策物品(FFP2マスク)	0.2	随意契約 (少額)	-	-	
14	一般財団法人 池坊 華道会	9130005002697	京都コンgresにおけるい けばな展示	0.9	随意契約 (その他)	-	-	
15	みかん合同会社	6010403011629	京都コンgresに係るパ ネルディスカッション動画撮影	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
16	みかん合同会社	6010403011629	京都コンgresに係るパ ネルディスカッション動画撮影	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
17	公益財団法人矯正 協会刑務作業協力 事業部	2011205000014	京都コンgres感染防止対 策物品(アクリルパーテ ーション)	0.1	随意契約 (その他)	-	-	
18	公益財団法人矯正 協会刑務作業協力 事業部	2011205000014	京都コンgres感染防止対 策物品(アイソレーションガ ウン)	0	随意契約 (その他)	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	職員A		職員旅費	0.2	その他	-	--	
2	職員B		職員旅費	0.2	その他	-	--	
3	職員C		職員旅費	0.2	その他	-	--	
4	職員D		職員旅費	0.1	その他	-	--	
5	職員E		職員旅費	0.1	その他	-	--	
6	職員F		職員旅費	0.1	その他	-	--	
7	職員G		職員旅費	0.1	その他	-	--	
8	職員H		職員旅費	0.1	その他	-	--	
9	職員I		職員旅費	0.1	その他	-	--	
10	株式会社日本旅行	1010401023408	職員旅費	0.1	その他	-	--	
11	株式会社日本旅行	1010401023408	職員旅費	0.1	その他	-	--	
12	株式会社日本旅行	1010401023408	職員旅費	0.1	その他	-	--	
13	株式会社日本旅行	1010401023408	職員旅費	0.1	その他	-	--	
14	株式会社日本旅行	1010401023408	職員旅費	0.1	その他	-	--	